

MDC730HX 7~30MHz MD200 専用カセットコイル

DIAMOND
ANTENNA

取扱説明書

このたびは、ダイヤモンドアンテナをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、読み終わったあと大切に保管してください。このカセットコイルは、本体エレメント(MD200)専用の製品です。したがって、本体エレメント(MD200)が無いとご使用になれませんので、ご注意ください。

●特長

- 1.カセットコイルの上下移動にて、7~30MHzまで広範囲に周波数調整ができます。
- 2.カセットコイル側面の上下位置目盛りにて、希望の周波数への変更が容易です。
- 3.高耐入力設計により、余裕をもった運用が可能です。

●取付方法

別途専用エレメントMD200の取扱説明書と本書を参考にしてお取り付けください。まずは、接続金具下部の固定ナットをゆるめて、MD200のフックが入るすきまを作って下さい。又、コイル固定金具のセットビスもゆるめておいてください。次に、カセットコイル本体をMD200のM型レセプタクルにねじ込み、フックを接続金具下のすきまにはさみます。先ほどゆるめた固定ナットを締め付けてフックをしっかりと固定します。固定ナットのセットビスを締め付けて、固定ナットがゆるまないように固定してください。
※コイル本体の上下位置目盛が見えにくい位置にある場合は、MD200のM型レセプタクルの固定位置を変えて調整してください。(詳細は、MD200取説をご覧ください。)

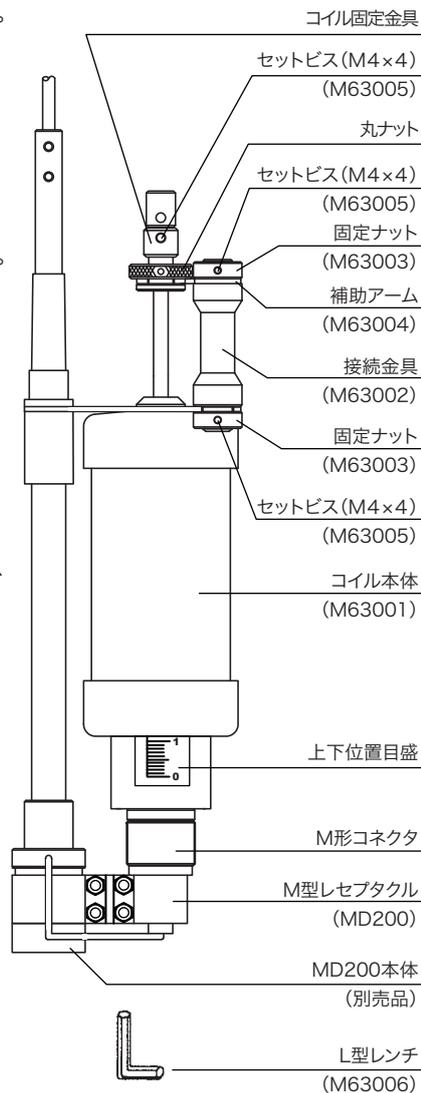
●ご注意

- ①このアンテナは車のボディをアースとして使用しています。車のボディと基台が完全に導通していないとVSWRが下がらない場合がありますので、基台とボディを完全に導通させてください。当社トランクリッドベースについては付属の保護板をはずし、セットビスを完全に車のボディへアースします。
- ②ラジアルマスト・マグネット基台・ルーフレール基台・キャリア/ミラーパイプ基台などはボディアースが不完全なため使用できません。またマグネット基台については、エレメントが長く倒れる可能性がありますので使用できません。
- ③アンテナエレメントが車のボディに近接したり、他のアンテナの近くではVSWRが下がらない場合があります。この場合、アンテナの取付場所を変えるか、エレメントを障害物から遠ざける方向に少し傾けてください。

●調整方法

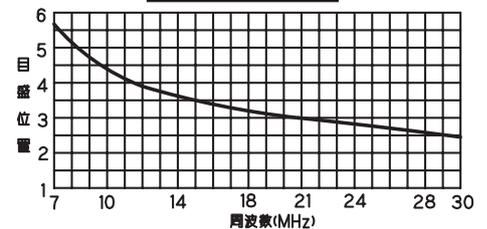
必ずローパワー(10W以下の電力)で行ってください。送信中、アンテナまたはカセットコイルに触れる

と高圧がかかり、電撃を受けることがあるのでご注意ください。また、運用中もアンテナ、カセットコイルには触れないようにご注意ください。とくにお子様、歩行者、自転車に乗っている人などの近くで運用の際は、十分ご注意ください。



- 1.まずご使用になる周波数を下表から選び、その周波数に対応するカセットコイルの上下位置を確認してください。

目盛位置と周波数



- 2.目的の位置にカセットコイルを移動させ、コイル固定金具側面にあるセットビスにて仮止め固定してください。
- 3.無線機より、ローパワー(10W以下の電力)で送信をして、SWRを測定してください。(ご希望の周波数を中心に、上下何ポイントか周波数を変えて測定すると容易に同調がとれます。)ご希望の周波数より低い周波数に同調していたときは、コイル位置を若干下げてください。逆に高い周波数に同調していたときには、コイル位置を若干上げてください。
- 4.周波数の微調整が完了しましたら、仮止めしていたセットビスをしっかりと締め付けてください。

●規格

- ・可変可能周波数:7~30MHz
- ・耐入力:200W(SSB) 70W(FM, CW)
- ・質量:約700g

■お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら、販売店にお申し付けください。

■このアンテナの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2011年1月 第1版発行
© 2011 第一電波工業株式会社
Printed in Japan